

富永 貴子

■練習場名：セントラルウェルネスクラブ 住之江インドアゴルフ

■年齢：42 歳

■勤務歴：7年

■役職：支配人

私とゴルフとの出会いは、会社のゴルフコンペに参加したことに始まります。当時、24歳の普通のOLだった私は、初めて行ったゴルフ場で、真っ青な空と緑萌えるフェアウェイの美しさに感動し、そしてカップインの瞬間にすっかりゴルフの虜になってしまいました。

以来ゴルフは、生活の中心となり、ついには人生そのものとなったのです。1989年、無謀にも私は、プロを夢見て、会社を退職してゴルフ場の研修生になりました。今のように、二十歳前後のプロが活躍する時代では、考えつかなかったかも知れません。

その後、遅咲きのツアープロの夢を方向転換するきっかけとなったのが、1997年のフロリダ・オーランドのミニツアーへの参戦でした。偶然にも冬季キャンプをはっていた倉本泰信・高村亜紀・金愛淑プロらと宿舎が同じになり、共に行動させていただくことになりました。一流プロたちと過ごしたフロリダでの生活は、私のゴルフ人生の大きな転機となりました。その時、拠点にした“ワールドウッドゴルフクラブ”のオーナーである井上幸久氏と知り合い、帰国後、日本のコースもアメリカのようにゴルフをよく知るプロによる運営が望ましいと考える井上氏の下で勤務することになりました。

1998年から2年間、フロアマネージャーとしてゴルフ場の運営を学び、系列コースで開催されたグローイングツアーでは、トーナメント運営にも携わることができました。また、フロリダへ研修に行かせていただき、アメリカのプロによるコース運営、メンバーや地域の方々へのレッスン活動等を現場で学ぶ事ができました。

2000年にLPGAティーチングプロ会員になったのをきっかけに、実家のある神戸に戻り、“菊水ゴルフクラブ”でゴルフスクールを開校いたしました。2001年には、友人と“有限会社プレセデ”を立ち上げ、女子のティーチングプロ3名をスタッフにスクール運営を始めました。

現在の活動拠点は、菊水ゴルフクラブのほか、セントラルウェルネスクラブ住之江店インドアゴルフ、帝国ホテルフィットネスクラブの三箇所です。なかでもセントラルウェルネスクラブ住之江店インドアゴルフは、業務委託運営をさせていただいています。現在はスタッフも7名に増え、レッスン中心の練習場として会員様一人一人のニーズに合わせたレッスンが出来るように、皆で力を合わせ頑張っています。

その中で昨年、3年前に開設したジュニアクラスより、日本の予選で優勝し、全米オープンの舞台にもなったパインハーストで行われたUSキッズワールドチャンピオンシップの出場者が出た時は皆で手を取って喜びました。

私は、24歳でゴルフを始めてから、プレーヤー・マネージャー・インストラクターと、いろいろな立場でゴルフと接してまいりました。これほど多くの経験ができ、大好きなゴルフをライフワークにできていることは、本当に幸せな事だと思います。今日まで、数え切れないほど多くの方々に助けられここまで来れたことに心から感謝し、これからも、人との出会いを大切に、少しでも皆様のお手伝いができるれば、そして、ほんの少しでも、皆様に喜んでいただけたなら、それは私

にとって、この上ない喜びです。

スイングは百人百様です。その方に最も適したスイングがあります。最もアマチュアの気持ちのわかるプロとして一人一人の個性・長所を大切に丁寧なレッスンを心がける事、また常に技術と感性を磨きアマチュアのお手本となれるように惜しまず努力する事、それが私の信条と取り組みです。